

Tersely GT 125i

Scooter

取扱説明書





警告

スクーターの電子燃料噴射システムからの被害を防ぐために、イグニッションスイッチが「オン」になっている時はバッテリーワイヤーの取り付けや取り外しを行なわないでください。

このマニュアルをよく読んでください。

このオーナーズマニュアルには、KYMCO Tersely GT 125i/200i/300i スクーターの安全、操作、メンテナンスに関する重要事項が掲載されています。スクーターを運転する際には事前に、本マニュアルにしっかり目を通し、内容を十分に理解しておく必要があります。安全を確保するために、本オーナーズマニュアルに掲載されているすべての警告事項と、スクーターに貼付されているラベルの表示内容を理解し、遵守してください。このオーナーズマニュアルは車両の不変部分と見なし、常にスクーターと共に保管してください。**オンロード使用のみ**。このスクーターはオンロード（道路上）での使用を想定して設計されています。

本マニュアルでは特に重要な情報を以下の各アイコンと表示で強調しています：

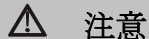


三角形の中にエクスクラメーションマークが表示されている安全警報マークは「注意!」「警告!」「危険」などを意味します。



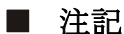
警告

「警告」マークの指示内容に従わなかった場合、運転者、同乗者、通行人、スクーターの検査や修理の担当者の重傷または死亡を招くおそれがあります。



注意

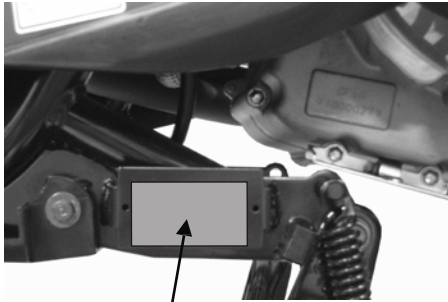
「注意」マークはスクーターの破損を防ぐための特別な注意事項を示しています。



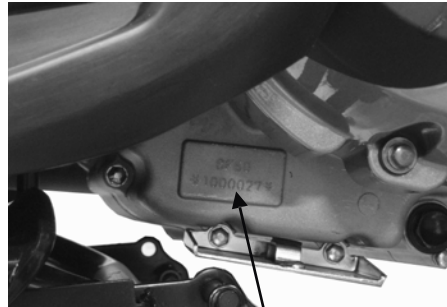
注記

「注記」マークは手順に関する重要事項や操作を明確にするための情報を示しています。

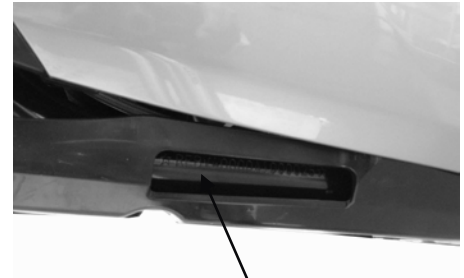
識別番号記録



①



②



③

1. 車両識別番号 (VIN)

2. エンジンシリアル番号 (ESN)

3. フレームシリアル番号

車両識別番号①、エンジンシリアル番号②、フレームシリアル番号③を上記の各欄に記録しておいてください
(KYMCO 正規ディーラーへの部品発注や、盗難に遭った場合の照合時にこれらの番号が必要になります)。

目次

① セクション 1 - 安全情報と今後の情報	1 - 8	④ セクション 4 - メンテナンス	25- 45
フォワード.....	1	メンテナンススケジュール.....	26-28
スクーターの安全.....	2 - 3	エンジンオイル.....	29
付属品と改造.....	4	エンジンオイルの交換.....	30 - 31
部品と制御装置の位置.....	5 - 8	トランスミッション液の交換.....	32
② セクション 2 - 制御装置とその機能	9 - 20	エアクリナーフィルターのエレメント.....	33
イグニッションスイッチ.....	9	スロットル動作性.....	33
安全シャッター.....	10	スパークプラグ.....	34
計器類.....	11 - 13	冷却水の残量点検.....	35
デジタル時計.....	14	冷却水の交換.....	36
右利き用スイッチ.....	15	サイドスタンド.....	37
左利き用スイッチ.....	16 - 17	ブレーキ液の残量の点検.....	38
燃料の推奨事項.....	18	ブレーキパッドの点検.....	39
シート.....	19	バッテリー & ヒューズ.....	40
ヘルメットホルダー.....	19	タイヤ.....	41
サスペンション.....	20	⑤ 排気制御	43
③ セクション 3 - 手順	21 - 25	⑥ 仕様	45
乗車前点検.....	21		
エンジンの始動.....	22 - 23		

セクション 1 -

安全情報と今後の情報

この度は **KYMCOTersely GT 125i/200i/300i** スクーターをお買い上げいただきありがとうございます。そして **KYMCOLaifamily** へようこそ。

運転を始める前にこのオーナーズマニュアルをよく読み、スクーターの各制御装置の適切な操作方法、それらの各機能、能力、制限事項をしっかりと把握しておいてください。

問題なく、長くスクーターをお使いいただくために、本マニュアルに説明されている適切な手入れとメンテナンスを実施してください。

交換用の部品や付属品については、常に **KYMCOPure** 純正品を使用してください。純正品はご購入いただいた車両のために特別に設計され、**KYMCOPure** の要求基準を満たすように製造されています。

このオーナーズマニュアルはスクーターに常備し、必要な情報をいつでも確認できるようにしておきましょう。このオーナーズマニュアルは車両の不変部分と見なし、売却する場合にも本機に付属しておく必要があります。

本マニュアルに掲載されているすべての情報、図、写真、仕様は、本マニュアル発行時に入手可能な最新製品情報に基づいています。本マニュアルには、内容の改正や変更などにより、ご購入された車両とは多少異なる情報が掲載されている場合があります。**KYMCOPure** には、通知することなく、かつ義務を負うことなく、いつでも製品や書類に変更を加える権限があります。

スクーターの安全

重要安全情報

お客様には、ご購入されたスクーターを長きにわたりお楽しみいただくために、ご自身の安全に責任を持ち、路上で遭遇する可能性のある事柄を把握しておくことをお勧めいたします。運転時には、ご自身を保護するためにできることがたくさんあります。本マニュアルには役立つ推奨事項が満載されております。以下は、安全に関する非常に重要なヒントです。

ヘルメットを着用する

必携のスクーター安全装具として、まず挙げられるのは高品質のヘルメットです。衝突時に被る可能性のある重傷の1つは頭部外傷です。必ず適切な認定を受けたヘルメットを着用してください。また、目に対しても適切な保護具を着用しましょう。

目立つ姿で

他の運転者が目視で確認できるように、運転時の服装は反射しやすい明るい色のものを選んで目立つ格好をし、右折・左折や車線変更するときには事前にウィンカーを点灯させ、他者に自身の存在を知らせる時にはクラクションを鳴らして下さい。

限界を知っておく

ご自身の技術的な限界を常に意識して運転してください。技術の限界を把握してその範囲内で運転することで、事故の防止につながります。

スクーターの状態を安全に保つ

安全運転のためには、運転時には毎回事前にスクーターの状態を点検し、推奨されるメンテナンス作業をすべて実施することが大切です。荷重限界を超えないよう、付属品はこのスクーターに対して KYMCO が認定しているもののみを使用してください。

運転前のスクーターの点検

運転者と同乗者の安全を確保するために、運転前に必ず全ての安全点検を行ってください。

悪天候下における特別な配慮

悪天候、特に雨天下での運転には特に注意が必要です。雨の日にはブレーキ距離を2倍にしましょう。路上の塗装面、マンホールのかぶり、つるつるした路面などは特に滑りやすくなっています。線路、金属製の格子や橋などを渡る時には特に注意してください。道路の状態が良くないと思った時はスピードを落としましょう。

改造

スクーターを改造したり、搭載されている装置類を取り外したりすると、車両の安全性が損なわれたり法律に抵触したりする可能性があります。お住まいの地域の適用される装備規制をすべて遵守してください。

スクーターの安全

保護装具

スクーターに乗る時には常に安全を考慮して、オートバイまたはスクーター用の公認ヘルメット、目の保護具、ブーツ、手袋、長ズボン、長袖のシャツまたはジャケットを着用しましょう。

ヘルメットおよび保護具

ヘルメットは、頭部外傷防止に最適かつ最も重要な装具です。ヘルメットは頭に合ったものを着用し、しっかりと固定してください。目を保護し視界を確保するために、フェイスシールドやゴーグルも常に着用しましょう。

追加の装具

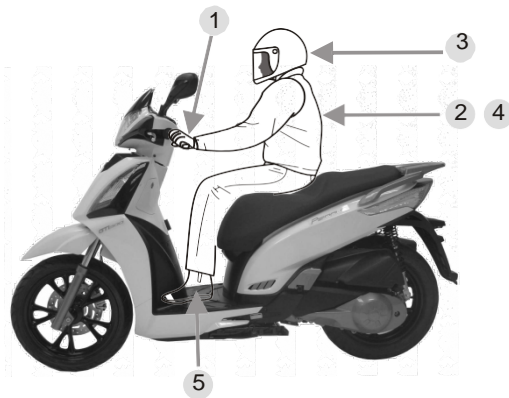
ヘルメットと目の保護具に加えて、以下の装具使用もお勧めします。

- 靴底に滑り止めがついている頑丈なブーツ。かかとから足先までを保護します。
- 革手袋。手を冷やさず、水ぶくれ、切り傷、やけど、打撲から保護します。
- オートバイまたはスクーター用のライダーズーツやジャケット。保護だけでなく快適さも考慮してデザインされた、明るい色で反射性の高い衣服で、路上で姿を目立たせます。緩いものを着用すると、スクーターの一部に引っかかる可能性がありますので、控えてください。



警告

ヘルメットを着用しないと、衝突時に重傷または死亡に至る可能性が高くなります。



- 1 手袋を着用
- 2 衣服はサイズの合ったものを（きつ過ぎず緩すぎず）
- 3 ヘルメットは必ず着用目の保護具も着用した方がよい
- 4 明るい色で反射性の高い衣服を着用
- 5 靴はサイズが合っていてヒールが低く、できれば足首を保護するものを着用



警告

運転者と同乗者はサイズの合ったオートバイ用認定ヘルメットを必ず着用してください。目の保護具やその他の保護装具も着用した方がよいでしょう。

付属品と改造

1 KYMCO のスクーターには、所有者が利用可能なさまざまな付属品があります。KYMCO は、購入したい付属品の品質や適切性を直接管理できません。不適切な付属品をスクーターに取り付けると、運転状態の安全性が損なわれる可能性があります。市販されている付属品や入手可能な付属品の組み合わせを KYMCO がすべてテストすることは不可能ですが、最寄りの KYMCO ディーラーが、高品質の付属品を選択して正しく取り付けるお手伝いをさせていただきます。

付属品の選択とスクーターへの取り付けには細心の注意を払ってください。

改造禁止

KYMCO では、スクーターの搭載品を取り外したり、何らかの方法でスクーターを改造したりしないように強く忠告させていただいております。スクーターの設計や運転時の状態が変化するおそれがあります。



警告

不適切な付属品や改造は、スクーターの安全を損ない、事故を招く可能性があります。付属品の不適切な取り付けや使用によりスクーターを改造してはいけません。この車両に追加するあらゆる部品と付属品については、KYMCO 純正品、またはこのスクーターへの使用を目的として設計されている同等品を使用し、指示どおりに取り付けを使用してするようにしてください。ご質問がございましたら、KYMCO 正規ディーラーにお問い合わせください。

部品と制御装置の位置

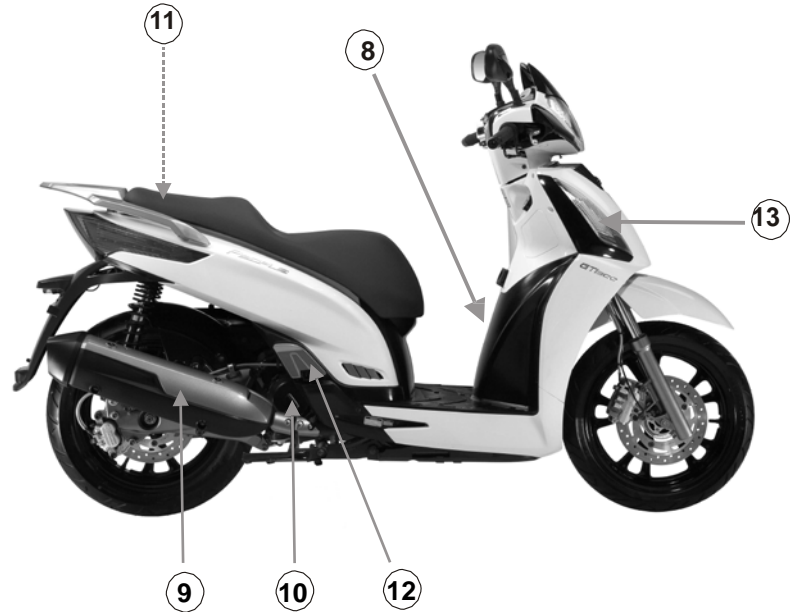
- ① リヤブレーキレバー
- ② ヘッドライト
- ③ 左ウィンカー
- ④ サイドスタンド
- ⑤ シート
- ⑥ エアフィルター
- ⑦ テールランプ、停止ランプ



■ 注記：本マニュアルの図はお持ちのスクーターの外観と多少異なる場合があります。

部品と制御装置の位置

- ⑧ 冷却水リザーバー
- ⑨ マフラー
- ⑩ オイル注入口キャップ／
オイルゲージ
- ⑪ 燃料注入口キャップ
- ⑫ 後席用フットベグ
- ⑬ 右ウィンカーLED



■ 注記：本マニュアルの図はお持ちのスクーターの外観と多少異なる場合があります。

部品と制御装置の位置

- ⑭ フロントウィンカー
- ⑮ ヘッドライト (ロービームランプ)
- ⑯ フロントブレーキレバー



■ 注記：本マニュアルの図はお持ちのスクーターの外観と多少異なる場合があります。

部品と制御装置の位置

- ①⑦ リヤウインカーLED
- ①⑧ エンジン停止スイッチ
- ①⑨ イグニッションスイッチ
- ①⑩ バッテリーおよびヒューズ
- ①⑪ テールランプ、停止ランプ
- ①⑫ 携帯電話用ソケット



セクション 2 - 制御装置とその機能

イグニッションスイッチ

イグニッションスイッチの操作方法と各機能について


「」の位置:

すべての電気回路がオフになります。
エンジンは始動・作動しません。

「」の位置:

イグニッション回路が「オン」になり、エンジンを始動
できます。この位置にある時はイグニッションスイッチ
からキーを外せません。

「」の位置:

ハンドルバーをロックするには、ハンドルバーを完全
に左に向け、キーを押し込んで「」の位置に回し
て外します。すべての電気回路がオフになります。



制御装置とその機能

安全シャッター

イグニッションスイッチの安全シャッター を開く

方法:

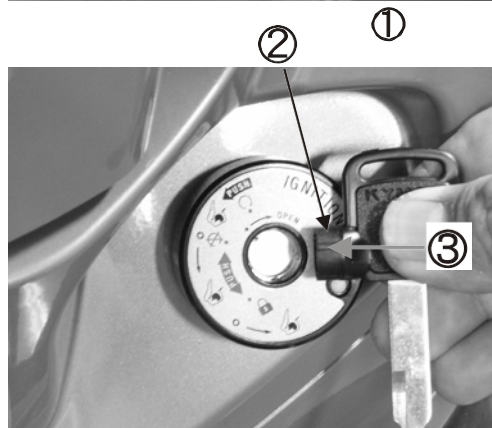
イグニッションスイッチのカバーの上にある
SHUT ボタンを押すとシャッター ①が閉じます。

イグニッションスイッチの安全シャッターを閉
じる方法:

溝 ② がピン の方向に向くまで特殊キー ③ を挿
入します。


時計回りに回すと、安全シャッターが開きます。

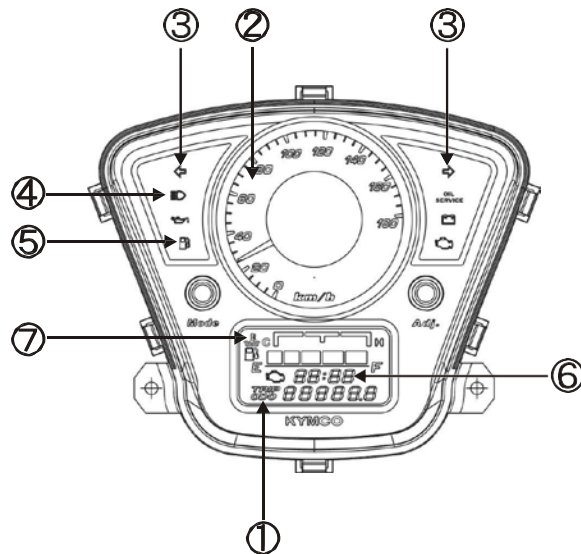
キーには専用コードがあり、キーと共に提供さ
れるタブに刻印されています。安全上の理由か
ら、このコードはスクーターには刻印されてお
らず、車両の基本文書にも記録されていません。
代用キーの入手時にはこのコードが必要になる
ので、このオーナーズマニュアル内の該当欄に
この重要コードを記録しておいてください。



制御装置とその機能

計器類

- ① オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）：「モード」ボタンを押すと、積算距離と区間距離を切り替えることができます。
 - 「ADJ」ボタンを2秒間押すと、ODO、TRIP (A,B)、SERVICE のいずれかのモードが表示されます。
 - TRIP モードで「ADJ」ボタンと「MODE」ボタンを同時に押すと、数値が自動的にリセットされます。
- ② スピードメーター（速度計）：走行速度が K/PH（時速キロメートル）で表示されます。
- ③ 方向指示器表示灯（ウィンカーライト）：いずれかのウィンカーを使用すると点滅します。
- ④ ハイビーム表示灯：このライトはヘッドライトのハイビームがオンになっている時に点灯します。
- ⑤ 燃料補給表示「」：この表示は燃料タンクが空に近くなったら点灯し、運転者にできるだけ早く燃料タンクに燃料を補給するよう警告します。
- ⑥ 時計
- ⑦ 冷却水温度計



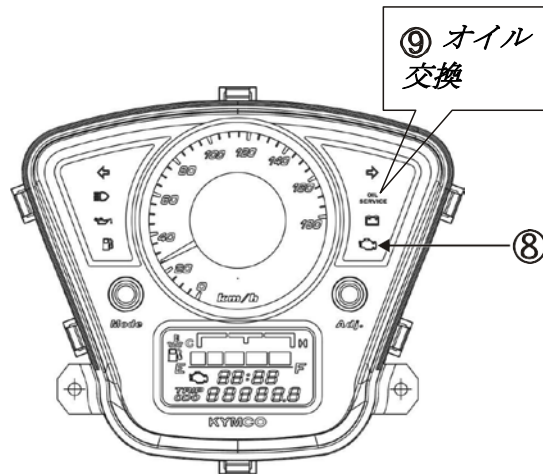
制御装置とその機能

- ⑧ CELP 表示:点滅している時は、スクーターの EFI または電気系統の不具合が検出されていることを示しています。すぐに KYMCO ディーラーによる検査を受ける必要があります。

■注記: エンジンが作動する前にスクーターを「オン」にすると、この CELP 表示がすぐに点灯します。

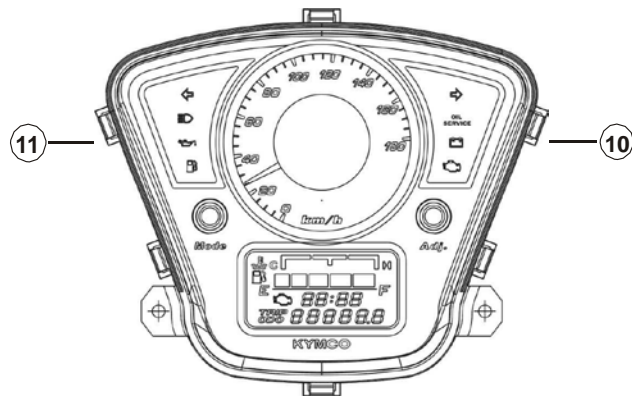
- ⑨ オイル交換時期表示: 走行距離がオイル交換を必要とする値に達したら点灯します。この表示はイグニッションが「オン」になった時も点灯しますが、エンジンが作動すると消灯します。

- 「ADJ」ボタンを 2 秒間押すと、ODO、TRIP、SERVICE のいずれかのモードが表示されます。
- SERVICE モードで ADJ ボタンと MODE ボタンを同時に押すと、表示が自動的に消えます。



- ⑩ バッテリー電圧表示：
エンジン始動中のバッテリー電圧が低くなると、この表示が点灯します。バッテリーが完全に充電されるまでは、エンジンを再始動できません。

- ⑪ 油圧表示:<Tersely GT 300i>
油圧が通常運転圧を下回ると、この表示が点灯します。スクーターは「オン」になっていてエンジンが作動していない時、この表示は点灯します。エンジンが始動するとこの表示は消灯します（エンジン暖機時にアイドリング状態またはそれに近い状態であれば点滅することがあります）。エンジンが始動してもこの表示が完全に消えない場合は、すぐに最寄りの KYMCO ディーラーにご相談ください。



注意

油圧が不十分な状態でスクーターのエンジンを作動させると、エンジンが致命的な損傷を受けます。

制御装置とその機能

多機能表示 - デジタル時計

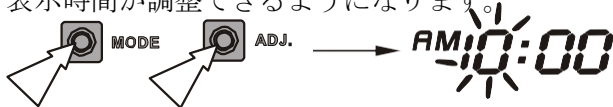
イグニッションが「オン」のとき、時計には時間と分が表示されます。

時計の表示時間を手動で調整するには、以下の手順に従ってください。

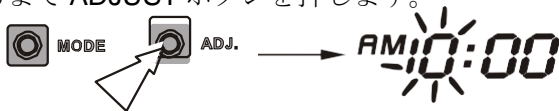
1. イグニッションスイッチを「オン」にします。
2. ADJUST ボタンを 2 秒以上長押しして、ODO モードを選択します。

■ 注記：デジタル時計の調整は ODO モードでのみ可能です。時間を調整したい場合にはトリップメーターモードやオイル交換時期表示モードを選択しないでください。

3. MODE ボタンと ADJUST ボタンを同時に 2 秒以上長押しします。「時間」の数字が点滅し始め、時計の表示時間が調整できるようになります。



4. 時間表示を設定するには、正しい「時間」が表示されるまで ADJUST ボタンを押します。



5. 分表示を変更するには、「分」の数字が点滅し始めるまで MODE ボタンを押します。



6. 分表示を設定するには、正しい「分」が表示されるまで ADJUST ボタンを押します。




7. 時計の調整を終えるには、MODE ボタンと ADJUST ボタンを同時に押してください。表示の点滅が自動的に停止します。約 10 秒以内のボタンも押さなければ、最終設定値が保存されて通常の表示に戻ります。





制御装置とその機能


ヘッドライトスイッチ ① の「☀」の位置：
ヘッドライトとテールライトを点灯します。

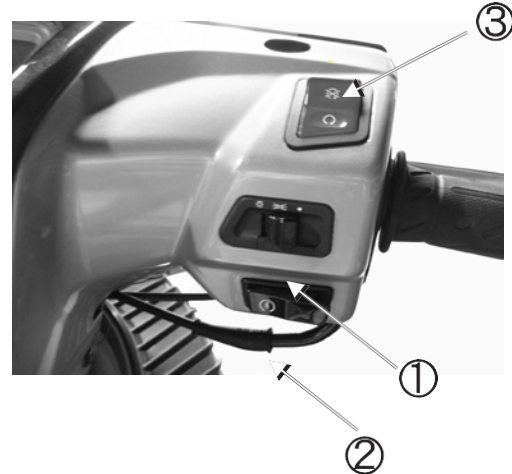
「」の位置：
位置表示灯とテールライト（走行ランプ）を点灯します。

「●」の位置：
ヘッドライトとテールライトを消灯します。
■ 注記：AHO モデルにはこのスイッチはありません。

電気スターターボタン ② の「」の位置：
電気スターターボタンを押すとスターターモーターが
作動します。

エンジン停止スイッチ ③ の「」の位置：
イグニッション回路がオフになります。
エンジンは始動・作動しません。

「」の位置：：
イグニッション回路がオンになり、エンジンを始動
できます。



■ 注記：スターターモーターは、スターターボタンを押すと同時にブレーキレバーを引き寄せることで連動します。


Tersely GT 300i には、サイドスタンドが完全に上がるまでスターターモーターが連動しないようにする安全インターロックも搭載されています。


■ 注記：AHO モデルにはこのスイッチ (1) はありません。

制御装置とその機能

ウィンカースイッチ ④:

ウィンカーを使用して、角を曲がる時や車線変更する時に他者にその意志を表示します。計器盤のウィンカー灯が点滅して、運転者にこのスイッチが入っていることを知らせます。

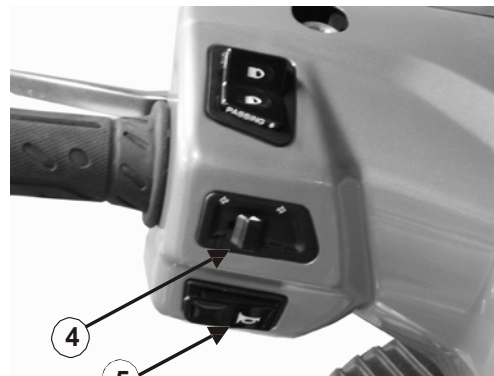
「」は左折用です。

「」は右折用です。

ウィンカーを解除するには、このスイッチが中央にきているときに押します。

クラクションボタン ⑤:


クラクションを鳴らすには、このクラクションボタンを押します。



制御装置とその機能

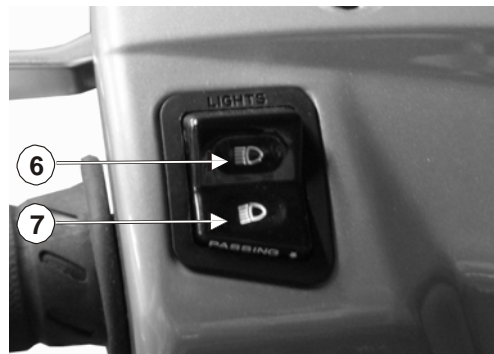
駐車灯（ハザード）スイッチ⑥：

スイッチの位置を「D」にすると、ヘッドライトのロービームがオンになります。

スイッチの位置を「D」にすると、ヘッドライトのハイビームがオンになって計器盤のハイビーム表示灯も点灯します。

パッシング灯ボタン ⑦：

追い越したい意思を他の車両に伝える時には、このボタンを使ってヘッドライトのハイビームのオンとオフを素早く切り換えることで知らせます。



制御装置とその機能

燃料量の点検／補給

計器盤の低燃料表示が点滅し始めた場合には、できるだけ早く無鉛ガソリンを燃料タンクに補充してください。

燃料タンク注入口：

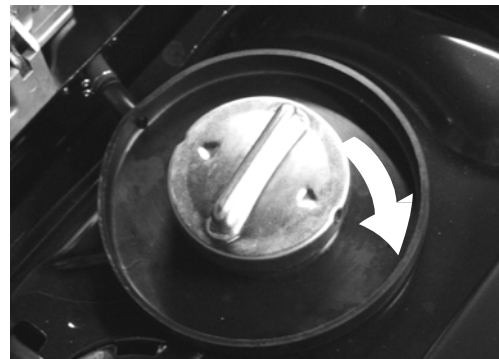
以下の手順に従ってスクーターに燃料を補給してください。

- ① イグニッションキーを使ってシートのロックを解除します。
- ② 燃料注入口キャップを反時計回りに回してロックを解除します。
- ③ ロックが解除されたら、燃料注入口からキャップを持ち上げます。
- ④ 燃料注入口キャップを取り付けるには、キャップを時計回りに回してロックします。

燃料の推奨事項

スパークプラグと排気部の破損を防ぐため、リサーチオクタン価が 91 以上の無鉛ガソリンを使用してください。

補充後は、必ずキャップをしっかりと閉めてください。



制御装置とその機能

シート

シートのロック解除方法

イグニッションキー^⑧の位置にある（エンジンは作動している）状態では、キーを押し込んで反時計回りに回して位置を^⑧から^⑨に変更します。

イグニッションキーが^⑩の位置にある（エンジンは作動していない）状態では、キーを反時計回りに^⑩回して位置をから^⑨に変更します。

シートの後部を引き上げて上に持ち上げます。

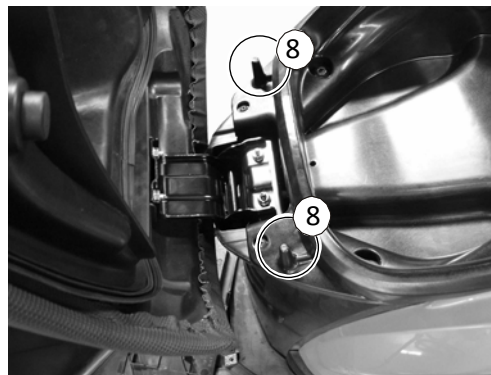
ヘルメットホルダー

ヘルメットホルダーを使用するには、シートを開けてヘルメットのファスナーリングをホルダーにひ^⑧っかけ、シートをしっかりと閉めます。



警告

ヘルメットホルダーの使用はスクーターの駐車時に限ります。ホルダーにヘルメットを掛けたまま走行しないでください。



制御装置とその機能

サスペンション

スクーターの各緩衝装置には、さまざまな荷重や乗り心地に対応するために 5 つのスプリングプレロードポジションがあります。

ピンスパナを使って後部緩衝スプリングプレロードを調整してください。ポジション 1 は軽い荷重でスムーズな路面状態に対応します。ポジション 3~5 ではスプリングプレロードが強化されており、スクーターに大きな荷重がかかる時に使用できるように後部サスペンションがやや固めになっています。いずれの緩衝装置も、同一のスプリングプレロードポジションに合わせて調整してください。

標準的なスプリングプレロードポジション:

Tersely GT 125i: 第 1

Tersely GT 300i: 第 2

⚠ 注意

緩衝装置のプレロードポジションの調整は、常に一定の順序 (1-2-3-4-5 または 5-4-3-2-1) で行ってください。1 から直接 5 へ、または 5 から直接 1 へ調整を行うと、緩衝装置が破損する可能性があります。



セクション 3 -手順

乗車前点検

安全のために、毎回の乗車時には少し時間を取ってスクーターの周辺を見て回り、コンディションを確認することが非常に重要となります。何か問題があれば、すぐに対処するか、または最寄りの KYMCO ディーラーに解決してもらう必要があります。



警告

スクーターのメンテナンスが不適切である場合や、乗車前に発覚した問題が解決されていない場合は、重傷や死亡を伴う故障が発生する可能性があります。

乗車時には毎回、乗車前点検を行い、問題があれば対処しておきましょう。

1. エンジンオイルの残量:必要であればエンジンオイルを補給します (29 ページ)。漏出がないか確認します。
2. ガソリンの残量:必要に応じて燃料タンクに補給します (18 ページ)。漏出がないか確認します。
3. フロントブレーキとリアブレーキ:動作を確認し、ブレーキ液の漏出がないことを確認します (40 ページ)。
4. タイヤ:状態と空気圧を確認します (41 ページ)。
5. スロットル (アクセル) :スムーズに動作するかどうか、ハンドルがどの位置にあっても完全に閉じることができるかどうかを確認します (33 ページ)。
6. ライト類とクラクション:ヘッドライト、テール/ブレーキライト、ウィンカー、各表示、クラクションが適切に機能するかを確認します。
7. ハンドル (ステアリング) :状態とスムーズに動作するかを確認します。

手順

エンジンの始動

このページ以降で説明している適切な始動手順に常に従ってください。


注意

スクーターの排気システムの触媒コンバーターを保護するため、アイドリング時間が長くなりすぎないようにしてください。また、有鉛ガソリンを使用しないでください。



注意

スターターモーターの破損を防ぐため、スターターモーターを 1 回に 5 秒以上作動させないでください。スクーターがすぐに始動しない場合は、ガソリン残量とバッテリーの状態を確認し、スターターモーターが冷えてからエンジンを再始動してください。

1. スクーターのセンタースタンドを掛けてサイドスタンドを上げます。
2. イグニッションキーを差し込み、イグニッションスイッチを「」に回してオンにします。



手順

3. 左（リヤ）ブレーキレバーを引き寄せます。

■ 注記：電気スターターは左（リヤ）または右（フロント）のブレーキレバーを引き寄せている時しか機能しません。

4. スロットルが閉じている状態で、スターターボタン①を押します。
エンジンが始動したらすぐにスターターボタンを放します。



注意

油圧が不十分な状態でスクーターのエンジンを作動させると、エンジンが致命的な損傷を受ける可能性があります。

5. エンジンの暖機中はスロットルを閉じたままにしておきます。
6. エンジンが完全に温まってから走行するようにしてください。

メモ

セクション 4 - メンテナンス

メンテナンスの重要性

安全に効率的に問題なく走行するためには、スクーターの適切なメンテナンスが不可欠です。また、大気汚染を軽減しつつ最高の燃費を実現するためにも有効です。

スクーターを適切に手入れするために、本オーナーズマニュアルには以降のページにメンテナンススケジュールを掲載しており、スクーターのメンテナンスを適切な間隔で実施できます。

この手順は、スクーターがその設計目的でのみ使用されるという想定に基づいています。継続的に高速運転している場合や、異常に濡れたり汚れたりする状況で運転している場合には、メンテナンススケジュールよりも高い頻度でメンテナンスを行なう必要があります。個人的なニーズや用途については、**KYMC**O ディーラーにご相談ください。

■ 注記：点検とメンテナンスに関しては必ず、本オーナーズマニュアルに記載されている推奨事項とスケジュールに従ってください。



警告

スクーターが横倒しになったり、衝突に巻き込まれたりした場合には、ご自身で修理できる状態であっても必ず、**KYMC**O ディーラーにすべての主要部品の点検を依頼してください。

スクーターのメンテナンスが不適切である場合や、乗車前に発覚した問題が解決されていない場合は、重傷や死亡を伴う故障が発生するおそれがあります。



警告

スクーターのメンテナンスを行なう際にエンジンの始動が必要になることがあります。屋内やガレージ内でスクーターのエンジンを作動させると危険です。排気ガスには一酸化炭素が含まれており、これは無色・無臭なので、死亡や重傷をもたらす可能性があります。エンジンの作動は、十分に換気されている場所（屋外がベスト）でのみ行ってください。

メンテナンス

メンテナンススケジュール

メンテナンス予定の各時期に乗車前点検（21 ページを参照）を行ってください。このメンテナンス間隔は、オドメーターの読み取り値または月数の、いずれか早い方で判断してください。

メンテナンススケジュール表（27 と 28 ページを参照）：

I: 必要に応じて、点検、掃除、調整、注油、交換を行なってください。

C: 掃除

R: 交換

A: 調整

L: 注油

次の 2 ページに掲載されているメンテナンススケジュールでは、**Tersely GT 125i/200i/300i** スクーターの動作を最高の状態に保つために必要なメンテナンスを規定しています。メンテナンス作業は、適切なトレーニングを受けた技能のある技術者が、**KYMCO** の基準と仕様に従って実施しなければなりません。**KYMCO** ディーラーは要件を全て満たしています。

- * お客様が適切なツール、サービスデータ、技術的な資格をお持ちでない限り、これらの作業は **KYMCO** ディーラーにお任せください。
- ** 安全の観点から、これらの項目は **KYMCO** ディーラーが実施することをお勧めします。**KYMCO** では、定期メンテナンスの完了後には毎回、**KYMCO** ディーラーによるロードテストを受けることをお勧めしています。

メンテナンス

頻度 項目		いずれか早い方		オドメーター値						参照 ページ	
		→		1	5	10	15	20	25		30
		↓	X 1000 km								
			月	1	6	12	18	24	30		36
*	エア クリーナー				R	R	R	R	R	R	33
	スパーク プラグ				I	R	I	R	I	R	3
*	スロットル 動作性				I	I	I	I	I	I	33
*	バルブ 間隙				I	A	I	A	I	A	-
*	燃料 経路					I		I		I	-
	クランクケース通気管				C	C	C	C	C	C	-
*	エンジン オイル				R	R	R	R	R	R	29
*	エンジン オイル 用スクリー					C	R	C	R	C	-
*	エンジン オイル 用フィルタ				R	R	R	R	R	R	-
*	エンジンの アイドル 回転数						I		I		-
*	トランスミッション 液				R	R	R	R	R	R	32
*	駆動 ベルト					I	I	I	R	I	-

メンテナンス

項目		頻度	いずれか早い方		オドメーター値							参照 ページ
			↓	→	X 1000 km	1	5	10	15	20	25	
				X 1000 mi	0.6	3	6	9	12	15	18	
			月		1	1	6	12	18	24	30	
**	クラッチ シュー の摩耗											-
	ブレーキ 液						R		R		R	38
	ブレーキ パッド の摩耗											39
	ブレーキ システム											-
*	ブレーキ ライト スイッチ											-
**	ステアリング 軸受											-
*	ヘッドライト の照準											-
*	ナット、 ボルト、 ファスナ											-
**	ホイール/タイヤ											41
**	冷却水						R		R		R	36

メンテナンス

エンジンオイル

エンジンオイルの推奨事項

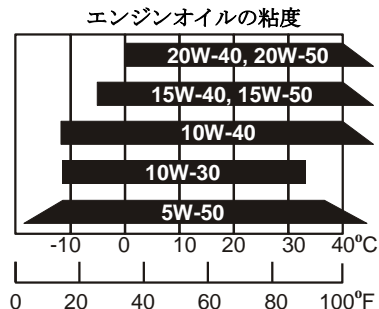
スクーターのより長い耐用年数を確保するために、プレミアム品質の 4 サイクルエンジンオイルを使用してください。API 規格の区分が SJ 以上のオイルのみを使用してください。

エンジンオイルの粘度:

SAE15W-40 (Tersely GT 125i 向け)

SAE 5W-50 (Tersely GT 200i/300i 向け)

これらの粘度のオイルを入手できない場合は、以下のチャートに従って代替りのエンジンオイルを選択してください。



エンジンオイルの容量:

1.2L (Tersely GT 125i 向け)

1.5L (Tersely GT 200i/300i 向け)

エンジンオイルの残量の点検

1 日の最初の走行前にエンジンオイルの残量を確認してください。油面レベルは必ず、オイル注入口キャップ/オイルゲージ ① の印の上限 ② から下限 ③ までの間にあるように維持します。



<Tersely GT 200i/300i>

1. エンジンを始動して数分間アイドルします。

⚠ 注意

油圧が不十分な状態でエンジンを作動させると、エンジンが致命的な損傷を受ける可能性があります。

2. エンジンを停止し、平らな地面の上でセンタースタンドを掛けます。

メンテナンス

3. 数分後、オイル注入口キャップ／オイルゲージを取り外したら、オイル注入口キャップ／オイルゲージをねじ込まずに再度挿入します。オイル注入口キャップ／オイルゲージを取り出します。油面レベルは必ず、オイル注入口キャップ／オイルゲージの上限マークから下限マークまでの間にあるように維持します。
4. 必要であれば、オイル残量がオイルゲージの上限マークに達するまで所定のオイルを補給します。入れ過ぎないように注意してください。
5. オイル注入口キャップ／オイルゲージを再度取り付けます③。オイル漏れがないか確認します。



警告

エンジンとその関連部品は非常に熱くなります。オイル残量の点検は、やけどをしないように注意して実施してください。エンジンと排気システムに対して作業する場合は、必要であればエンジンと排気システムを冷ましてから作業を行ってください。

エンジンオイルの交換

エンジンオイルの品質はエンジンの寿命に影響する主な要因です。メンテナンススケジュールに従って、スクーターのエンジンオイルを交換してください。

■ 注記：エンジンオイルを交換する際には、オイルが素早く完全に排出されるよう、スクーターのセンタースタンドを立てて、通常動作温度でエンジンのエンジンオイルを入れ替えてください。



<Tersely GT 200i/300i>

1. 右クランクケースカバーからオイル注入口キャップ／オイルゲージ③を取り外します。
2. 左クランクケースの下に適切な容器（ドレーンパン）を置きます。

メンテナンス

3. オイル排出プラグ④をクランクケースから取り外してオイルを排出します。
4. 排出プラグを元に戻して、所定のトルクまで締め付けます。
5. 下記の量までエンジンにオイルを補給し、オイル注入口キャップ/オイルゲージを元通りに取り付けます。

	125i	200i/300i
容量	1.2L	1.5L
交換時	1.0L	1.3L

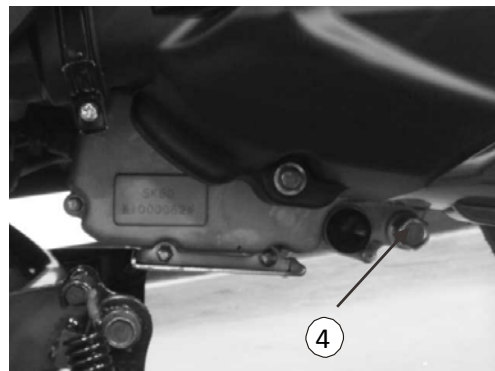
6. エンジンを始動して2～3分間アイドルします。
7. エンジンを停止し、平らな地面の上でセンタースタンドを掛けてスクーターを停車させて、オイルゲージでオイル量を確認します。
8. 必要に応じてオイル量を調整します（油面レベルがオイルゲージの上限マークに達するように）。オイルゲージを元に戻してオイル漏れがないか確認します。

⚠ 注意

油圧が不十分な状態でエンジンを作動させると、エンジンが致命的な損傷を受ける可能性があります。



<Tersely GT 125i>



<Tersely GT 200i/300i>

メンテナンス

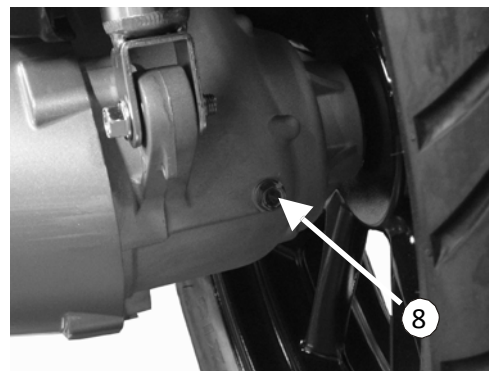
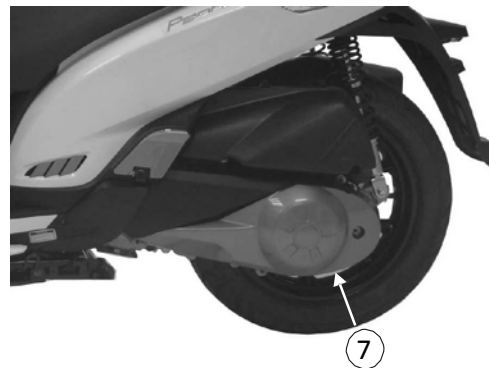
トランスミッション液の交換

1. スクーターのセンタースタンドを掛けます。
2. トランスミッション液排出部のボルト⑦を取り外します。
3. トランスミッション液注入部のボルト⑧を取り外し、リヤホイールをゆっくりと回して液を排出します。
4. 推奨トランスミッション液を、下記の容量までトランスミッションに注入します。

トランスミッション液のタイプ:SAE 90

	125i	200i/300i
容量	0.13L	0.23L
交換時	0.12L	0.21L

5. トランスミッション液注入部のボルトを元に戻して、所定のトルクまで締め付けます。



<Tersely GT 300i>

メンテナンス

エアクリーナーフィルターのエレメント

エアクリーナーフィルターのエレメント⑨のメンテナンス作業は、お客様がこの作業を行なうための適切なツール、サービスデータ、技術的な資格をお持ちでない限り、KYMCOディーラーにお任せください。

極端に濡れている場所や汚れている場所を走行する場合には、より頻繁にエレメントのメンテナンスを行なってください。

⚠ 注意

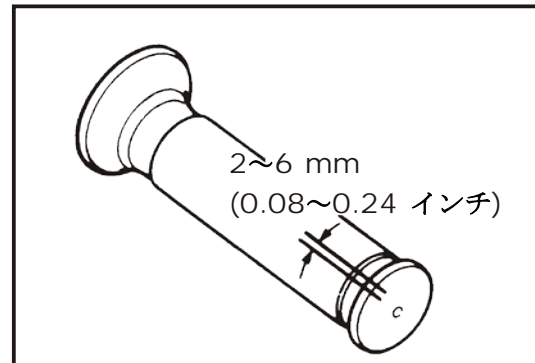
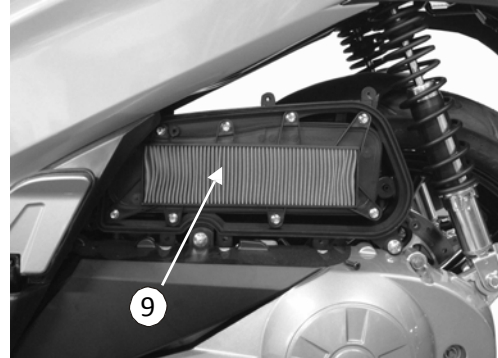
不適切な KYMCO 製エアクリーナーエレメント、または KYMCO 製と同等の品質ではない KYMCO 製以外のエアクリーナーエレメントを使用すると、エンジンの摩耗が進んだり性能に問題が発生したりすることがあります。

スロットル動作性

1. 乗車時には毎回事前に、両方のスロットルグリップが全開から全閉までスムーズに回転することを確認します。
2. スロットルグリップフランジでのスロットルグリップの遊びを測定します（右図を参照）。

スロットルの遊び:

0.08 ~ 0.24 インチ (2.0 ~ 6.0 mm)



メンテナンス

スパークプラグ

小さなワイヤブラシまたはスパークプラグのクリーニング機を使って、スパークプラグの炭素堆積物を取り除きます。掃除が終わったら（または新しいスパークプラグを取り付ける時）、スパークプラグ間隙用厚さゲージを使用して、スパークプラグの間隙を所定の限界値になるまで再調整します。スパークプラグは定期的に交換してください。

炭素堆積物を取り除く際には必ず、取り外したスパークプラグ先端の磁器部の色を確認してください。この色から、標準スパークプラグが走行タイプに合っているかどうか分かります。通常の使用状態であれば、スパークプラグの磁器部は明るい茶色か黄褐色になっています。

スパークプラグの磁器部が非常に白い場合や光沢があるように見える場合、そのプラグは動作時に過剰に熱くなっています。そのような場合には、標準スパークプラグを熱領域野低いもの（通常は値が大きくなります。代替スパークプラグを選択する時には KYMCO ディーラーにご相談ください）と交換しなければなりません。

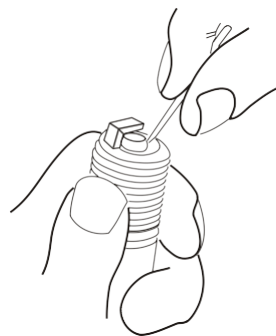
推奨スパークプラグ: CR7E (NGK)



注意

不適切なスパークプラグは、エンジンに対して正しく取り付けることができない場合、または熱範囲が不適切な場合があります。その結果、保証が適用されない致命的な破損をエンジンにもたらす可能性があります。熱範囲が不適切なスパークプラグは、エンジンの重大な破損を招きくため決して使用しないでください。

スパークプラグの間隔: **0.024 ~ 0.028 インチ**
(**0.6 ~ 0.7 mm**)

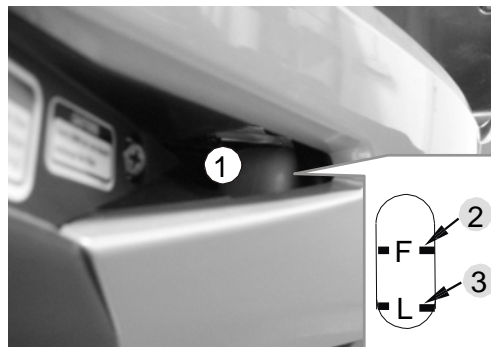


メンテナンス

冷却水の残量点検

右フロアボードの下に予備タンクがあります。エンジンが通常の動作温度である時に、センタースタンドを立てた状態で、右側のスカートにある点検窓 ① から冷却水の残量を確認します。

冷却水の液面レベルが下限マーク ② よりも下担っている場合は、フロアマットを取り除き、予備タンクのふたを取り外してから、液面が上限マーク ③ に達するまで冷却水を補給します。



警告

冷却水は予備タンクにのみ補給してください。ラジエーターキャップを取り外して冷却水を補給しないようにしてください。ラジエーター内の冷却水は加圧されており、非常に熱くなりますので、重度のやけどを負うおそれがあります。

メンテナンス

冷却水の交換

お客様が適切なツール、サービスデータへのアクセス権、技術的な資格をお持ちでない限り、スクーターの冷却水の交換は KYMCO ディーラーにお任せください。

注記：冷却水は常に予備タンクに補給してください。ラジエーターキャップを取り外して冷却水を補給しないようにしてください。



警告

エンジンが熱い時にラジエーターキャップを取り外すと冷却水が飛び散ってやけどするおそれがあります。必ずエンジンとラジエーターが冷えてからラジエーターのキャップを取り外すようにしてください。

冷却水の推奨事項

冷却システムとエンジンの冷却水について、適切なタイプを選択して適量を維持するようにスクーターの点検を行なうことは、お客様の責任です。凍結、オーバーヒート、腐食を防止するには、冷却水の状態を良好に維持し、不凍剤と蒸留水の比率を適切に維持する必要があります。冷却水には、アルミ製エンジン用に特別に作られた腐食防止剤を含む高品質のエチレングリコール不凍剤のみを使用するよう手配してください（不凍剤の容器の表示をご覧ください）。

スクーターの冷却システムのために、不凍剤と蒸留水の比率を **40:60** にする必要があります。この冷却溶液は大半の差動作温度に対応でき、しっかりと腐食を保護できます。



注意

不凍液の一部として使用できるのは低ミネラル飲料水または蒸留水のみです。ミネラルや塩の含有量が高い水の使用は、アルミ製エンジンには危険です。ケイ酸塩阻害剤を含む冷却水を使用すると、水ポンプの封止が早く磨耗したり、ラジエーターの経路が詰まったりするおそれがあります。水道水を使用するとエンジンが破損するおそれがあります。

氷点下になるような環境でスクーターを使用している場合は、エンジンの凍結も防止できるように、**KYMCO** ディーラーで高濃度の不凍剤を注入してください。ただし、その場合の不凍剤の濃度は蒸留水に対して **60%** を超えないようにしてください。

暖かい時期には、不凍剤を標準濃度のものに戻して下さい。濃度が **40:60**（不凍剤濃度 **40%**）未満の場合は、十分な腐食保護が施されません。

メンテナンス

サイドスタンド

スクーターを駐車する際、サイドスタンドだけでは不十分ですが、サイドスタンドには重要な安全機能が備わっています。サイドスタンドが下りている状態でスクーターに乗ろうとするとイグニッションが遮断されるようになっています。以下の通り、サイドスタンドの点検を行ってください。

インターロック機能の確認：

サイドスタンドのイグニッション遮断システムを確認します。

1. スクーターのセンタースタンドを掛けます。
2. サイドスタンドを上げてエンジンを始動します。
3. サイドスタンドを下げます。サイドスタンドを下げるとエンジンが停止するはずですが。

■ 注記：サイドスタンドシステムが上記のように動作しない場合には、**KYMC O** ディーラーにメンテナンスを依頼してください。



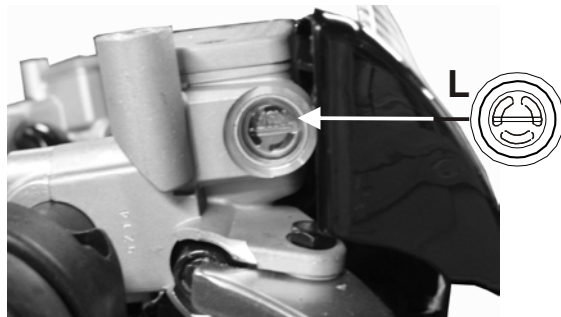
メンテナンス

ブレーキ液

ブレーキ液の残量の点検

センタースタンドを立てた状態で、前部と後部のブレーキ液の残量を確認します。

液面が下限マークよりも上であれば問題ありません。液面が下限マーク「L」に達している、またはそれよりも下になっている場合には、ブレーキパッドの摩耗状態を確認してください。



4

■ 注記：その他の点検事項—ブレーキ液の漏出がないか、そして、ホースと付属部品に劣化や亀裂がないかを確認してください。



警告

ブレーキパッドが磨耗している場合はすぐに交換してください。パッドが磨耗していない場合は、ブレーキ液が漏れていないかブレーキシステムを点検する必要があります。ブレーキが完全に作動する状態でなければスクーターには乗車しないでください。

ブレーキ液のタイプ: DOT 4

メンテナンス

警告

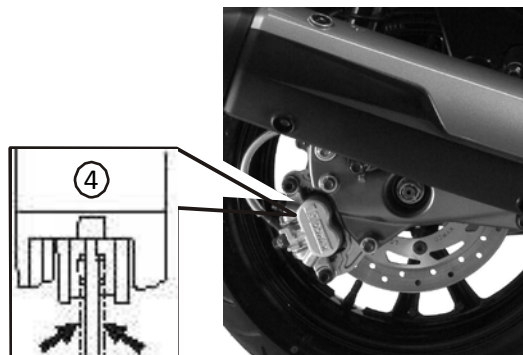
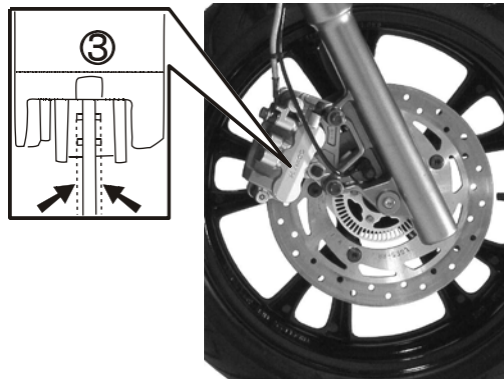
ブレーキを適切に作動させるために、調整ナットの溝がブレーキアームのピンに合っていることを確認してください。

ブレーキパッドとシューの厚さを点検し、ブレーキが適切に機能するのに十分な材料がそろっていることを確認します。

1. フロントブレーキパッドの摩耗表示溝③が目視で確認できない状態であれば、ブレーキパッドが磨耗しており、交換が必要となっているサインです。
2. リヤブレーキパッドの摩耗表示溝④が目視で確認できない状態であれば、ブレーキパッドが磨耗しており、交換が必要となっているサインです。

警告

走行中にブレーキレバーを握り続ける（引き寄せた状態）と、ブレーキが早く磨耗します。ブレーキシステムの点検については KYMCO ディーラーにご相談ください。



メンテナンス

バッテリー

KYMCО スクーターに搭載されているバッテリーはメンテナンス不要（封止）タイプですので、バッテリーの電解液量の確認も蒸留水の補給も不要です。

■ 注記：バッテリーが弱っていると考えられる、および／または、電解質が漏れている場合（始動しにくい、またはその他の電気関連トラブルがある）は、すぐにKYMCОディーラーにご連絡ください。

⚠ 注意

バッテリーはメンテナンス不要タイプです。キャップストリップを取り除くと、バッテリーが修復不可能になるほど破損するおそれがあります。



ヒューズ

ヒューズの故障が頻発する場合は、電気系統でショートまたはオーバーロードが発生しています。

■ 注記：電気系統の診断と修理についてはKYMCОディーラーにご相談ください。



警告

格付けが指定のものではないヒューズは絶対に使用しないでください。電気系統の著しい破損や火災が発生し、照明類やエンジン出力が危険な状態まで損なわれる場合があります。

ヒューズ一覧

30A ...CHARGE ヒューズはバッテリー充電システムを保護します。

15A ...MAIN ヒューズはすべての電気回路を保護します。

15A ...HEAD-HI/LO ヒューズはヘッドライトのハイ／ロービームと時計を保護します。

10A ...IGNITION ヒューズはイグニッションシステムを保護します。

10A ...FAN ヒューズは冷却ファンのモーターを保護します。

メンテナンス

タイヤ



警告

これらの警告に従わない場合には、タイヤ不良が原因で事故を招くおそれがあります。スクーターのタイヤはスクーターと路面の重要な連結部です。運転者と同乗者の安全はスクーターのタイヤの状態に左右されます。以下の指示内容に従ってください。

- 乗車前には毎回、タイヤの状態と空気圧を確認して空気圧を調整してください。
- スクーターの過重量を避けてください。
- タイヤが所定の限界まで磨耗している場合、またはタイヤに切り傷や亀裂などの損傷が見つかった場合には交換してください。
- タイヤは必ず、本オーナーズマニュアルに記載されている適切なサイズとタイプのものを使用してください。
- タイヤを取り付けた時にはホイールのバランスを調整してください。
- オーナーズマニュアルのこのセクションを熟読してください。

タイヤのならし運転を行わないと、タイヤがスリップしたり、タイヤをコントロールできなくなったりする可能性があります。

新しいタイヤでの走行時はグリップが制限されますので特に注意が必要です。本マニュアルの慣らし運転に関する推奨事項に従って、タイヤの適切なならしを行ってください。最初の 100 マイル (160km) は、激しい加速、コーナリング、ブレーキングは行わないでください。

■ 注記：定期メンテナンススケジュールに記載されている頻度で、タイヤの空気圧とタイヤの溝の状態を確認してください。安全とタイヤの寿命を最大限に確保するためには、タイヤの空気圧を予定よりも頻繁に点検すべきです。

タイヤの空気圧

タイヤの空気圧が不十分な場合は、タイヤの摩耗を加速させるだけでなく、スクーターの安定性も影響を受けます。タイヤの空気圧が不足しているとスムーズなコーナリングが困難になり、空気圧が高過ぎるとタイヤの地面との接触量が少なくなってスリップや制御不能を引き起こすおそれがあります。スクーターのタイヤの空気圧が常に所定の範囲内にあることを確認してください。

■ 注記：タイヤの空気圧の調整はタイヤが冷えてから行ってください。

フロントタイヤ (運転者のみ) : 24.85 PSI (1.75 kgf/cm²)

リアタイヤ (運転者のみ) : 28.40 PSI (2.00 kgf/cm²)

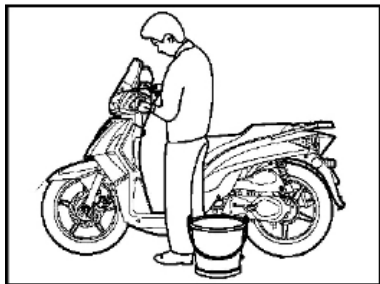
フロントタイヤ (運転者&同乗者) : 24.85 PSI (1.75 kgf/cm²)

リアタイヤ (運転者&同乗者) : 32.0 PSI (2.25 kgf/cm²)

メンテナンス

洗車

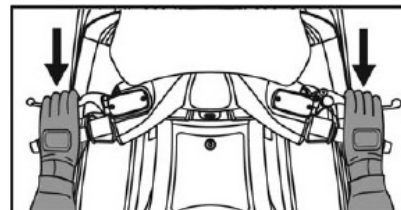
1. スクーターに冷水を十分にかけて表面の汚れを洗い流します。
2. 冷水を使用してスポンジまたは柔らかい布でスクーターの汚れを落とします。マフラーの排気口と電気部品には直接水がかからないようにしてください。



3. 中性洗剤を水で溶いたものに布またはスポンジを浸して、プラスチック部の汚れを落とします。土などが付いている部分には、きれいな水を何度もかけてやさしくこすります。ブレーキ液やその他の化学溶剤は、プラスチック面や塗装面を破損させるため、スクーターの近くに置かないようにしてください。

注記：スクーターの洗車後や雨天時には、ヘッドライトのレンズの内側と速度計レンズの内側が曇りやすくなりますが、ヘッドライトからの熱で結露は徐々に消えます。洗車後は結露を消すために、ヘッドライトをつけたままエンジンを作動させてください。

4. 汚れを落とした後、きれいな水を十分に使ってスクーターをしっかりとすすいでください。合成洗剤が残っていると合金製部品が腐食するため、完全に洗い流す必要があります。
5. スクーターを乾かしてから、エンジンを始動して数分間アイドルします。



6. スクーターに乗る前に、ブレーキをテストしてください。場合によっては、ブレーキの通常の動作性を復活させるためにブレーキを数回作動させる必要があります。

注記：洗車直後は、ブレーキ部品の水没が原因で一時的にブレーキ効率が悪くなる場合があります。事故を引き起こすことのないように、停止距離を多めに取ってください。

仕上げ：

洗車後は、塗装仕上げ面を強化し保護するために、市販のスプレー式クリーナー／つや出し剤やペースト状のワックスの使用をご検討ください。スクーター、オートバイ、自動車に対しては特に、つや出し剤やワックスは表面を傷つけないもののみを使用してください。つや出し剤やワックスは容器の指示内容に従って塗布してください。

排気制御

クランクケース排気制御システム

Tersely GT 125i/200i/300i のエンジンは閉鎖型クランクケースシステムに搭載されています。ブローバイガスは吸気システムを通じて燃焼室に戻ります。このシステムはブローバイガスが大気中に放出されないようにするものです。

排気制御システム

Tersely GT 125i/200i/300i スクーターからの排気は、エンジ設計、出荷時に設定される燃料供給、イグニッション設定、廃棄システム設計により制御されています。このシステムは排気システムの触媒も含んでいます。

排気騒音制御システム

Tersely GT 125i/200i/300i スクーターのエンジン、吸気システム、排気システムは、連邦・州・地域の騒音レベル要件を遵守するように設計されました。エンジン、吸気システム、排気システムの構成部は改造しないでください。これらの改造は騒音レベル要件の遵守状況に影響します。

Tersely GT 125i/200i/300i スクーターの騒音・排気レベルが変わってしまう可能性があるため、KYMCO 設計の構成部品の改造や変更は一切行わないでください。

メモ

仕様 - Tersely GT 125i

寸法

全長.....	85 インチ (2130 mm)
全幅.....	30 インチ (750 mm)
全高.....	51 インチ (1280 mm)
ホイールベース.....	58 インチ (1450 mm)

容量

エンジンオイル.....	1.2L
トランスミッションオイル.....	0.13L
燃料タンク.....	9L
正味重量.....	334 ポンド (152kg)

エンジン

タイプ.....	4 サイクル、液冷式 SOHC
排気量.....	124.8cc (7.49 立方インチ)
ボアとストローク..... 2.16 インチ X 2.18 インチ (54 X 54.5mm)
圧縮比.....	11.7:1
最大馬力のエンジン.....	14.3ps/9000rpm
スパークプラグ.....	CR7E
アイドル回転数.....	1800RPM
冷却システム.....	液冷式
始動システム.....	電気スターター
トランスミッション.....	自動 CVT

シャーシ

フロントタイヤのサイズ.....	110/70-16
リアタイヤのサイズ.....	140/70-16
ブレーキ (フロント)	DISK
ブレーキ (リヤ)	DISK

電気系

イグニッションのタイプ..... デジタルインダクティブ式イグニッション
イグニッションのタイミング.....	ECU 制御
バッテリー.....	12V12AH
ヘッドライト.....	12V60W/55W
テール/ブレーキライト.....	12V5W/21W
ウインカー (フロント/リヤ) ...	12V10W/2W (LED)
ヒューズ.....	30A/15A/10A

仕様 - Tersely GT 200i

寸法

全長.....	85 インチ (2130 mm)
全幅.....	30 インチ (750 mm)
全高.....	51 インチ (1280 mm)
ホイールベース.....	58 インチ (1450 mm)

容量

エンジンオイル.....	1.5L
トランスミッションオイル.....	0.23L
燃料タンク.....	9L
正味重量.....	377 ポンド (171.5kg)

電気系

イグニッションのタイプ..... デジタルインダクティブ式イグニッション
イグニッションのタイミング.....	ECU 制御
バッテリー.....	12V12AH
ヘッドライト.....	12V60W/55W
テール/ブレーキライト.....	12V5W/21W
ウィンカー (フロント/リヤ)	12V10W/2W (LED)
ヒューズ.....	30A/15A/10A

エンジン

タイプ.....	4 サイクル OHC
バルブトレーン.....	OHC & センターピボット
排気量.....	205cc
ボアとストローク..... 2.16 インチx2.40 インチ (66x60 mm)
圧縮比.....	10.3:1
最大馬力のエンジン.....	20.6ps/8000rpm
最大トルクのエンジン.....	2.03kg.m/6500rpm
スパークプラグ.....	CR7E
アイドル回転数.....	1600RPM
冷却システム.....	液冷式
始動システム.....	電気スターター
トランスミッション.....	自動 CVT

シャーシ

フロントタイヤのサイズ.....	110/70-16
リアタイヤのサイズ.....	140/70-16
ブレーキ (フロント)	DISK
ブレーキ (リヤ)	DISK

仕様 - Tersely GT 300i

寸法

全長.....	85 インチ (2130 mm)
全幅.....	30 インチ (750 mm)
全高.....	51 インチ (1280 mm)
ホイールベース.....	58 インチ (1450 mm)

容量

エンジンオイル.....	1.5L
トランスミッションオイル.....	0.23L
燃料タンク.....	9L
正味重量.....	363 ポンド (165kg)

電気系

イグニッションのタイプ..... デジタルインダクティブ式イグニッション
イグニッションのタイミング.....	ECU 制御
バッテリー.....	12V12AH
ヘッドライト.....	12V60W/55W
テール/ブレーキライト.....	12V5W/21W
ウィンカー (フロント/リヤ)
.....	12V10W/2W (LED)
ヒューズ.....	30A/15A/10A

エンジン

タイプ.....	4 サイクル OHC
バルブトレーン.....	OHC & センターピボット
排気量.....	298.9 cc
ボアとストローク	2.91 インチ X 2.88 インチ (72.7 X 72 mm)
圧縮比.....	10.8:1
最大馬力のエンジン.....	28ps/7750rpm
最大トルクのエンジン.....	2.7kg.m/6500rpm
スパークプラグ.....	CR7E
アイドル回転数.....	1600RPM
冷却システム.....	液冷式
始動システム.....	電気スターター
トランスミッション.....	自動 CVT

シャーシ

フロントタイヤのサイズ.....	110/70-16
リアタイヤのサイズ.....	140/70-16
ブレーキ (フロント)	DISK
ブレーキ (リヤ)	DISK

「台湾地区で販売する**KYMCO**製品は
台湾で設計、製造、品質管理されています。」

KYMCO's products sold in Taiwan are all designed, manufactured, and quality controlled in Taiwan.

